

放射線から子どもたちを守る三郷連絡会

代表 大場 敏明 様

三 郷 市

要望書への回答について

この度はご要望をいただきまして、ありがとうございます。

ご要望に対する回答は、以下のとおりです。

○市民の放射線ひばくに関わる三郷市への要望書（2022年版）

1. 東海第2原発の延長・再稼働に反対意見を表明すること

<回答>企画調整課

東海第二発電所については、平成30年11月に運転期間延長の認可がありましたが、電力事業者は立地自治体への説明を継続している状況です。立地自治体や周辺自治体では、住民意見の集約や、独自の安全性検証を進めており、国の原子力規制委員会においても特定重大事故等対処施設に係る審査会合が継続されております。

三郷市としましては、引き続き動向を見守りながら対応してまいります。

2. トリチウム等を含む原発汚染水の海洋放出に反対すること

<回答>企画調整課

福島第一原子力発電所の汚染水を含む放射性廃棄物の処理のあり方については、専門家や、国の専門機関による議論の動向を注視して対応してまいります。

3. 福島県民健康調査（甲状腺エコー検査）長期的継続

<回答>健康推進課

福島県「県民健康調査」の基礎調査における中間とりまとめにおいては、「総合的に判断して、甲状腺がんへの放射線の影響は考えにくい」、原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）の2020報告書においては「若年層に認められた甲状腺がんの発生率の増加は、広範囲にわたる超高感度のスクリーニングの結果と判断」と評価されております。その後も、甲状腺がん検査が実施されるとともに、定期的に「県民健康調査」検討委員会等において、甲状腺がんの症例と放射線の関係について議論されているところでございますので、引き続き国・県等の動向を注視してまいります。

#### 4. 放射線汚染土の安全管理の強化と情報の透明性

<回答>クリーンライフ課

埋設箇所の異常の有無については、施設管理者が継続的に年1回以上実施している放射線量率の測定に併せて点検を行い、確認及び把握に努めております。また、埋設保管場所においては、囲いや掲示板は設置しておりませんが、基準値や想定を超える値が測定された場合には、迅速に対応してまいります。なお、施設における測定結果(概ね校庭等の中央での測定値です)につきましては、ホームページで公表しております。

#### 5. 三郷市の放射能対策の維持・強化

<回答>健康推進課

福島県「県民健康調査」の基礎調査における中間とりまとめと原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）の「2020報告書」で報告されているとおり、甲状腺がんへの放射線の影響は考えにくいとされております。引き続き国・県等の動向を注視してまいります。

<回答>クリーンライフ課

今後も放射線量率の定期測定及び結果の公表を実施し、基準値や想定を超える放射線量率が測定された場合には、原因を検証し、対応してまいります。

#### 6. 市民の自主的健康調査などへの理解と協力

<回答>健康推進課

福島県「県民健康調査」の基礎調査における中間とりまとめと原子放射線の影響に関する国連科学委員会（UNSCEAR）の「2020報告書」で報告されているとおり、甲状腺がんへの放射線の影響は考えにくいとされており、市として、被ばくによる甲状腺がんへの悪影響が考えにくいとされているなかで、甲状腺エコー検査が必要との認識はしていないところでございます。引き続き国・県等の動向を注視してまいります。

<回答> 広報課

ご要望をいただきました、広報面での協力につきましては、広報紙内の市民の皆さまからの情報コーナー「伝言板」におきまして、「甲状腺エコー検査」の記事を掲載いたしました。今後も、年度に1回の掲載などの掲載基準に沿って対応させていただきます。

担当

企画調整課 企画調整係 TEL 930-7763

広報課 広報係 TEL 930-7762

クリーンライフ課 環境保全係 TEL 930-7716

健康推進課 健康づくり係 TEL 930-7771

※「市民の声」についての連絡先 生活安全課 広聴室 TEL 930-7724